

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 6 年 1 月 30 日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通株式会社	館山市街地循環バス 系統:循環 運行回数:6回/日 運賃:現金200円・ キャッシュレス決済160 円	初回のためなし。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:令和5年度の1日当り乗車人数 35人/日、年間収支率8%以上 実績:32.1人/日、9.66% 分析:過去最高を上回る圧倒的な暑さにより外出控えや運賃の値上げ(100円→200円)等が利用者減少の原因と考えられるが、目標数値に近い乗車実績を挙げられた。運賃値上げにより、収支率も向上した。	<ul style="list-style-type: none"> EVバス導入による新規顧客開拓を目指す。 EVバス導入にあわせクレジットカードタッチ決済を導入し、支払方法の門戸を広げ利用機会増加を目指す。 利用者増加に向けた定期的かつ広範囲の広報活を実施する。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6 年 1 月 30 日

協議会名：	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>南房総・館山地域公共交通計画(令和3年8月～令和7年12月)の基本理念： 「地域住民の生活を守り、地域の活性化を図る社会基盤となる圏域一体型の公共交通ネットワークの実現」</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性： フィーダー交通の「館山市街地循環バス」は、館山市の中心市街地における買い物、通院等の地域の移動手段としての役割を担っている。起終点の館山駅では、JR内房線、高速バス、地域間幹線系統に接続しており、より広域への移動も可能になる等の重要な役割ももっている。一方で、当地域は少子高齢化や人口減少が著しく交通事業者の運営努力や自治体の運営補助のみでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>